

+Affiliated with the International Association
THE Y S MEN S CLUB OF TOKYO HACHIOJI
Chartered October 30, 1994



〒 194-0211
東京都町田市相原町 1857
長谷川 あや子
TEL & Fax: 042-771-6962
E-mail: ayako.h3@nifty.com

2025年8月

The Service Club of The YMCA

第362号

東京八王子ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子
副会長 久保田 貞視
書 記 小口 多津子
会 計 稲葉 恵子
直前会長 並木 真
担当主事 西嶋 健太
ブリテン 山本英次 大久保重子

国際会長 エドワード・オン (シンガポール) 主題「信念、愛、行動」
スローガン「共に、より強く」
アジア太平洋地域会長 田上 正 (熊本むさし) 主題「信念と愛を持って行動しよう!」
スローガン「YMCA、ユースと共に地域社会に貢献しよう」
東日本区理事 山下 真 (十勝) 主題「ワイズのらしさ再発見」
スローガン「Change!」
あずさ部部長 山口 直樹 (東京武蔵野多摩) 主題「垣根を低くし、活発な活動を」
八王子クラブ会長 長谷川 あや子 主題「若い人の成長を願い、ともに歩む」

東京八王子・東京多摩スマイル ワイズメンズクラブ合同例会 (八王子クラブ新旧会長引継ぎ式を含む)

▼ 日 時: 8月9日 (土曜日) 16:30~18:30

▼ 会 場: 「北海道 八王子駅前店」 (JR 八王子駅北口徒歩1分)
八王子市旭町 2-5 八王子ツインタワーA館 6階 TEL 050-5600-2537

▼ 会 費: メン・メネット・ゲスト 3800円、ひつじぐもご招待
(八王子クラブメン 2800円 - 年会費に食費含むため)

▼ プログラム

- 開会挨拶 司 会 並木 信一ワイズ
- ゲスト・ビジター紹介 八王子クラブ会長 長谷川 あや子
- 八王子クラブ新旧会長引継ぎ式 (並木 真ワイズから長谷川 あや子ワイズへ) 両クラブ会長 綿引・長谷川
- 八王子クラブ直前会長への慰労感謝・記念品贈呈 会長 長谷川 あや子
- 多摩スマイルクラブ「プランター野菜講座」より 会長 綿引 康司
- 「慈有塾」「こども食堂・ぼくの家」に寄付金贈呈 司 会 西嶋 健太ワイズ
- 会食・歓談 深尾 香子ワイズ
- *乾 杯 東新部部長・東京多摩スマイルクラブ
- *会 食
- *各クラブ等紹介・アピール (長谷川 あや子会長)
- ・東京八王子ワイズメンズクラブ (綿引 康司会長)
- ・東京多摩スマイルワイズメンズクラブ (石原島 伶名 さん)
- ・中央大学ひつじぐも
- ・その他

*参加者 1分スピーチ

- ハッピーバースデー
- 諸連絡
- 閉会挨拶

多摩スマイルクラブ 会長 綿引 康司

今月の聖句 (2025 年 8 月) 塩は良いものである。だが、塩に塩気がなくなれば、あなたがたは何によって塩に味をつけるのか。自分自身の内に塩を持ちなさい。そして、互いに平和に過ごしなさい。

(新約聖書 マルコによる福音書 9:50)

巻 頭 言

若い人の成長を願い、 ともに歩む

会 長 長谷川 あや子

この度、東京八王子クラブの会長を拝命いたしました長谷川でございます。

3回目の会長をさせて頂くわけですが、1997年の入会以来、どの年も遣り甲斐のある充実した年月でした。会長主題「若い人の成長を願い、ともに歩む」は2回目の会長の時、提唱したもののなのですが、振り返れば私たちワイズ自身も成長させて頂き、設立30年という年月を刻んできたのだと思います。



昨年度は並木真会長の卓越したリーダーシップと行動力で八王子クラブも新しい境地に立つことができました。2回目のコースアクションではひつじぐもが川口市での多文化交流イベントを開催し、それには八王子ワイズだけでなく白羊会OB、他クラブのワイズも応援参加して下さり輪が広がりました。ダイナミックな動きだったと思います。

振り返れば2001年、エルサルバドル大地震の直後に緊急支援街頭募金に立ったお陰で北野彌生前を通りかかった当時のひつじぐも柳原絵里子さんに声をかけて頂き、それ以来のひつじぐもと八王子ワイズとの交流です。

毎月の例会にこうしてひつじぐもの方が参加して下さることが私たちにとっても大きな励みとなり、充実した例会になるよう心を込めて準備しますし、プリテンにも24年間毎月欠かすことなく「ひつじぐも便り」を寄稿して下さることに感動を覚えます。

街頭募金、チャリティコンサートもひつじぐもの皆さんとともに働くことによって感動も倍になりま

す。それがボランティアの醍醐味というか喜びではないでしょうか。「若い人の成長を願う」ということは私たち自身も成長しなければなりません。年齢とともに体力や気力が衰えるかもしれませんが、真心があればきっと何かしら若い人たちに与えるものがあるのではと信じます。

最後にYMCAとワイズの関係にふれますと、基本は人間関係だと思います。東京YMCAに星野さんがいる、西嶋さんがいる、八王子クラブを退任された菅野さん、佐藤さん、中里さん達との暖かい交わりが私たちに今も力を与え、YMCAのために何かしたいという気持ちになります。

八王子クラブは現在11名ですが、直近10年の間に花輪さん、並木真さん、稲葉さんの3名、素晴らしい方たちが入って下さいました。そして新しい風を吹き込んで下さっています。これからもクラブの内外に暖かい風を送りお仲間を増やしたいと思います。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

講演: YMCA ビジョン 2030 と地域社会への取り組み

東京YMCA 総主事 星野 太郎氏

テーマ



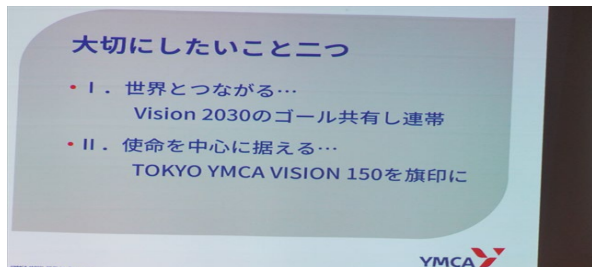
本講演では、YMCAのビジョン2030や各地域YMCAの独自ビジョン、世界YMCA大会の歴史、コミュニティウェルビーイングやサステナブルプラネットなど4つの柱を中心とした具体的な地域活動、

多様性・包摂の価値観、環境保護、組織基盤強化、そして東京YMCAビジョン150の策定と推進など、YMCAが目指す社会貢献と今後の課題について解説しています。

要点

1. YMCAのビジョン2030
2. ビジョン150(大阪YMCA)
3. ビジョン2032、34(横浜YMCA)
4. 世界YMCA大会とその歴史
5. ビジョン2030の4つの柱(コミュニティウェルビーイング、ミーニングフルワーク、サステナブルプラネット、ジャストワールド)

6. YMCAの具体的な地域活動例(東京YMCA)
7. ウェルビーイングの推進
8. やりがいある働きの重要性
9. 持続可能な地球への取り組み
10. 東京YMCAビジョン150の策定と推進
11. リーダー活動支援
12. 多様性を重視した保育園・こども園運営



ハイライト

“違いを認める。排他ではなくて応接、分断ではなくてつなぐ。作るのは風じゃなくて橋。”

“一人の良い生き方が、古い生き方が、それから働きがいがある、これを大事にすること。これに大事ですよね。”

“職員だけの組織じゃない、運動体ですよ、担当者、共同者、支援者、みんなで作っていく、それがYですよ。”

章とトピック

YMCAビジョン2030

YMCAが世界的に定めた2030年までの共通ゴール。4つの柱(コミュニティウェルビーイング、ミーンイングフルワーク、サステナブルプラネット、ジャストワールド)を中心に、各地域・国で取り組みを進めることが決定された。3年前の夏、ノルウェーで開催された世界YMCA大会で採択された。

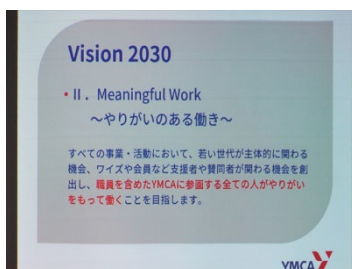
要点

コミュニティウェルビーイング:より良い地域社会づくり、一人一人の成長機会や安心・安全な居場所の提供

ミーンイングフルワーク:やりがいある働き、特に若者を中心とした課題解決

サステナブルプラネット:持続可能な地球環境への取り組み、気候変動への対応

ジャストワールド:公正な世界の実現、差別や偏見の排除、多様性の尊重



説明

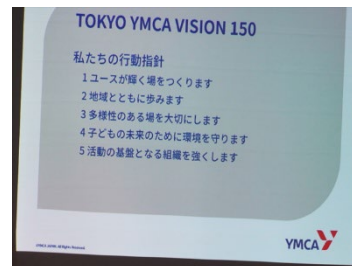
ビジョン2030は、世界YMCAが初めて共通のゴールとして定めたもので

あり、各地域YMCAが自分たちの現場でできることから始め、社会・世界への変革につなげていくことを目指している。東京YMCAでは、機関紙や年度運営方針にビジョン2030を反映し、具体的な活動に落とし込んでいる。

Examples

東京YMCAでは、コミュニティウェルビーイングの領域で一人一人の成長機会や安心・安全な居場所の提供を続けている。ミーンイングフルワークでは、YMCAに関わる全ての人がやりがいを持てるように取り組んでいる。サステナブルプラネットでは、気候変動への対応を運営方針に盛り込んでいるが、まだ十分に実現できていない部分もある。ジャストワールドでは、差別や偏見の排除、多様性の尊重を掲げている。

ビジョン2030の4つの柱ごとに、東京YMCAがどのような具体的活動を行っているかを明示してい



る。年度運営方針や機関紙での発信を通じて、ビジョンの浸透を図っている。

留意点

各地域YMCAが自分たちの現場でできることから始めること

ウェルビーイングの推進には、スタッフや関係者の現状把握と改善が必要

気候変動への具体的な取り組みはまだ十分でないため、今後の課題

特別な状況

もし排外主義や分断が社会で強まる状況に直面した場合、違いを認めつなぐ役割をYMCAが果たすべきである。

YMCAの歴史と日本各地のYMCA設立順

日本のYMCAは、東京、大阪に続き、3番目に熊本YMCAが設立されたと述べられており、横浜YMCAも後に設立された。大阪YMCAはビジョン150を掲げており、2030年は東京YMCAの150周年、2年後に大阪YMCAの150周年、さらに2年後に横浜YMCAの150周年を迎える。

要点

東京YMCA、大阪YMCA、熊本YMCA、横浜YMCAの設立順(講演者による言及)

各YMCAが独自のビジョン(ビジョン150、ビジョン2032、34など)を策定

世界YMCA大会は4年に1回開催される

日本各地のYMCAは、それぞれの歴史や節目に合わせてビジョンを策定し、活動の方向性を定めている。世界YMCA大会は4年ごとに開催され、国際的な連携やビジョンの共有が行われている。

留意点

設立順や周年記念に合わせたビジョン策定が重要
多様性と包摂の価値観

YMCAは、差別や偏見を排除し、多様性を尊重する場を提供することを重視している。排外主義や分断が強まる社会状況に対して、違いを認め、つなぐ役割を果たすことが求められている。

要点

差別や偏見の排除

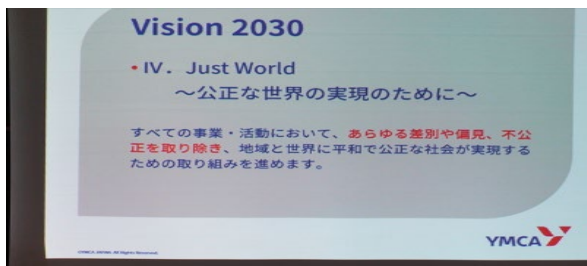
多様性の尊重

包摂的な社会の実現

アメリカや日本での排外主義的な動きに対し、YMCAは違いを認め、分断ではなく橋を作ることを使命としている。

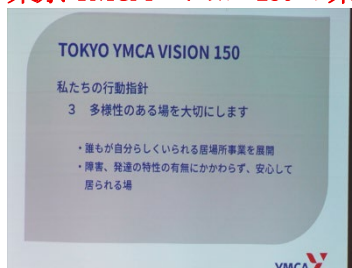
留意点

社会情勢に応じて包摂の価値観を強調する必要がある



もし社会で排外主義や分断が強まった場合、YMCAは包摂と多様性の価値観を積極的に発信し、実践することが求められる。

東京YMCAビジョン150の策定と推進



東京YMCAが掲げる『ビジョン150』は、今後の10年、さらには150周年を見据えた行動指針と具体的アクションプランを策定し、

会員・職員・支援者を巻き込んで推進する取り組みである。策定には1年かけて10回、3年で20回の議論を重ねている。

要点

ビジョン150は1年かけて10回、3年で20回の議論を経て策定

行動指針は5つ:ユース育成、地域とともに、多様

性の尊重、環境保護、組織基盤強化
会員・職員・支援者を巻き込んだ推進体制

ビジョン150は、YMCAの今後の方向性を明確にし、具体的なアクションを設定するために、長期間にわたる議論と検討を経て策定された。各行動指針ごとに現場の声や社会課題を反映し、会員や職員だけでなく、地域や行政、支援者も巻き込んで実現を目指している。

Examples

世田谷区で新たに土地を購入し、クラブを設立するプロジェクトが進行中。個人の支援者が土地購入費用や建設費用を提供し、行政とも連携しながら地域課題解決に取り組む。

地域拠点の重要性を認識し、失われた拠点の再設置を目指す。

行政の空き家バンク制度や個人支援者の協力を得て、具体的なプロジェクトとして進行。

地域の外国ルーツの子ども支援や高齢化対策も視野に入れている。

留意点

議論を重ねて多様な意見を反映すること

会員・職員・支援者の巻き込み

地域や行政との連携

資金や人材などリソースの確保

もし新たな地域拠点設置に行政や個人支援者の協力が得られない場合、既存の空き家バンク制度やNPO連携を活用して代替案を検討する。

リーダー活動支援と財政基金の充実

現役リーダーの活動を支援するため、財政基金を充実させ、交通費やトレーニング費用の自己負担を軽減する仕組みを構築する。

要点

リーダー会への交通費やトレーニング費用を自己負担から組織負担へ

財政基金の充実をビジョンに明記

中高生ボランティア活動の機会拡大

リーダー活動の継続や拡大には、経済的負担の軽減が不可欠である。財政基金を充実させることで、現役リーダーが安心して活動できる環境を整備し、さらに中高生にもボランティア活動の機会を広げる。

Examples

北米YMCAではキャンプリーダーの多くが高校生であり、東京でも同様の仕組みを目指している。高校生がリーダーとして活躍することで、若年層の育成と活動の活性化を図る。

経済的負担を軽減することで参加しやすい環境を

作る。

留意点

リーダーの声を反映した制度設計

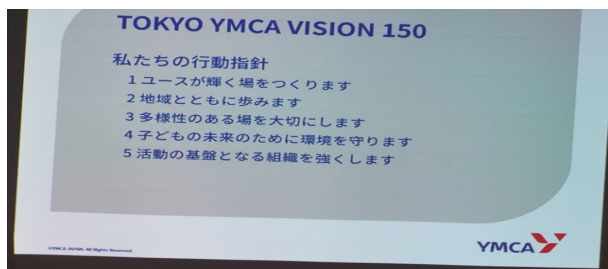
財政基金の財源確保

中高生への活動機会の周知

もし財政基金の財源が不足した場合、クラウドファンディングや寄付キャンペーンを実施して補う。

多様性を重視した保育園・こども園運営

YMCAが運営する保育園・こども園では、多様性を尊重し、発達特性や障害のある子どもも受け入れ、相談・療育支援体制を整備する。



要点

3つの認可保育園、2つの都市認定こども園を運営

多様性を重視した保育の場を地域に展開

発達特性や障害のある子どもへの相談・療育支援

単なる預かりではなく、発達特性や障害のある子どもも安心して通える保育園・こども園を目指し、相談や療育の仕組みを導入することで、地域の多様なニーズに応える。

留意点

保育所の多機能化への挑戦

相談・療育体制の整備

多様な子どもを受け入れる姿勢

もし特性のある子どもへの対応が難しい場合、専門機関と連携して支援体制を強化する。

環境保護活動と再生可能エネルギーへの転換

今年の5月、東京YMCAの都内全事業所が電力を再生可能エネルギーに切り替え、秋田県沿岸部の風力発電由来の電力を主に利用している。国連子どもの人権委員会からの気候変動対策への指摘も踏まえ、環境保護活動を推進している。

要点

今年の5月に全事業所の電力を再生可能エネルギーへ転換

秋田県沿岸部の風力発電由来の電力を利用

国連子どもの人権委員会からの気候変動対策への指摘

地球環境の危機を受けて、YMCAとしても積極的に再生可能エネルギーへの転換を進め、子どもの

未来のために環境保護活動を強化している。

留意点

再生可能エネルギーへの切り替えの実施

環境保護活動の推進

国際的な指摘への対応

もし再生可能エネルギーの調達が困難な場合、他地域の発電事業者と連携し調達先を多様化する。

組織基盤強化と広報力の向上

組織の持続的発展のため、資金・人材などリソースの強化と広報力の向上を図る。この4月から募金・広報担当者をフルタイムで配置し、会員・支援者の拡大を目指す。



要点

この4月から募金担当・広報担当をフルタイムで配置

会員・支援者の拡大

広報力の強化

良い活動をしていても世の中に知られていない現状を打破するため、専任担当者を配置し、広報活動を強化することで、組織基盤の強化と支援者の拡大を目指す。

留意点

広報活動の強化

専任担当者の配置

会員・支援者の拡大

もし広報活動の効果が出ない場合、SNSや地域イベントなど新たな広報手段を導入する。



2025 年あずさ部第 1 回評議

小口多津子（書記）

7 月 26 日（土）AM10:30～場所は東京 YMCA 山手コミュニティセンターでした。

八王子クラブからの出席者は、並木真さん、西嶋健太さん、稲葉恵子さん、小口。（会長の長谷川さん、副会長の久保田さん欠席の為、会長代行を書記小口）



全体出席者数ワイズのみで 54 名。ホストクラブの東京サンライズ主催のオープニングセレモニーは東京 YMCA 高等学院の女性徒 8 名によるトーンチャイムの演奏から始まりました。お話と指導

は同校の主任吉岡先生。なんとも優しい音色で讚美歌のいつくしみ深き、とディズニーの名曲の Its small world の 2 曲が披露されました。

開会式と評議会

司会は書記の東京西クラブ本川悦子さん、開会点鐘と共にいよいよ今年の山口部長のスタートでした。主題は「垣根を低くし、活発な活動を」、各クラブが活性化することによって人が集い、垣根が低くなる、部でクラブ間の行事を共有する案もいくつか提供されました。

- ① 今後の評議会も年に 2 回とし、1 回目の今日は前年度活動報告と会計決算と予算案。2 回目の 4 月は、次年度に向けての活動計画と体制。

また、今回冊子の最終頁に載せたあずさ部行事予定にある、各クラブのプログラムに参加呼びかけを伝え、クラブ間の垣根を取り除くこと。

- ② 部会をなくして、評議会の 2 部をあずさの集いとして実施する。今日のこの後も、2 部に「あずさの集い」を準備しました。
- ③ 部報はメール配信、部の事務化の簡素化。④ 年 4 回、会長会を ZOOM のオンライン。

他の詳細は部報 1 に記載。

続いて、議案審議、当日議決権者数 45 名（定足 30 名）1 号議案の 2024 年度の会計報告と監査報告。前年度の田中克男あずさ部会計より決算報告。

2024 年当初あずさ部メンバー数 148 名での予算が、部

費収入が-13500 円の差額が出た。

CS の補助金の 20 万は実行されたこと。

予算案に関しては、東日本区予算が厳しく、あずさ部も同じで会員が増えない限り、手立てはない。しかし、東日本区ではあずさ部はトップの人数を保っている。しかし、予算削減にあたっては、今年度から担当主事の区大会等の補助金が予算化出来ないのは、苦しい思いである（部長談）。次年度への繰越金 225,558 円、あずさ部ファントは 360,367 円の繰越。今年度は 11 クラブ、146 名でスタート。

望月勉（富士五湖クラブ）ワイズの監査報告を承認。

2 号議案の部長指名は、次期部長、大和田浩二ワイズ（松本）、2027-2028 年次々期部長は東京サンライズクラブから。

3 号議案の次期監事の決定方法の件（山口部長提案）は、2026-2027 年は P. マントフォードワイズ。

今回からの新たな方針は、監事任期を 1 年とし、部長経験を監事に生かすために、2 年前の部長に監事となってもらう。

各クラブ会長報告、部報 1 に沿って、順次、11 クラブの報告がありました。

続いて、今年の AYC（熊本）に参加のあずさ部から代表のひつじくもの岩崎 葵さん（4 年生）へのあずさ部支援金 10,000 円が八王子クラブへ授与されました。

最後に、特別アピールとして、遠路を来られた石巻広域クラブ会長関川祐一郎ワイズから、2026 年日本区大会石巻市のアピール。2026 年は大震災から 15 年に、石巻広域クラブチャーターから 10 年になる。

被災地石巻で、その後の瓦礫からの復興、感謝を含めての開催を是非、見て頂きたい。

閉会点鐘・・・山口部長、終了後に全員の写真撮影。12 時 45 分散。

第 2 部「あずさの集い」は会場を移して、明治通り沿いの中華三国志にて、司会：御園生好子ワイズ各クラブや委員からのアピールタイムが主でした。アピールは以下でした。

- ① 石巻広域クラブ関川会長から第 29 回東日本区大会・・・2026 年 6 月 6 日土曜日開催
- ② 榎本博、金子正樹（区書記）から、財政の逼迫している区会計の為に、

2026 年ワイズカレンダーを作成します。1100 円／冊を、1500 部販売しないと達成できない。

- ③ 望月勉（富士五湖クラブ）ワイズから第 21 回富士山例会 9/27、28 富士山 5 合目佐藤小屋参加費（宿泊者）15,500 円 締め切り 9 月 10 日

- ④ 森本俊子ワイズ(長野)長野クラブ設立・チャーター15周年「栄村コシヒカリ特別例会」案内
日時 2025年10月25、26日 日帰り可。登録費(宿泊者)16,500円。
- ⑤ 水越会長(甲府21クラブ)、9月20日(土)ぶどうの丘納涼例会。詳細は後日
- ⑥ 並木真(ユース事業主任)AYC(アジアユースコンボケーション)熊本開催7月31日～
東日本区から5名のユース参加者。あずさ部からは八王子クラブひつじぐもの岩崎さん。
- ⑦ 並木真(ユース事業主任)YMLF 開催。9月5日～7日富士山Yグローバル・エコビレッジ。

(評議会感想)あずさ部に146名も在籍とは、この日の評議会の熱気で実感できました。

山口直樹部長のクラブ間の垣根を外すは、あずさ部のいいところ、強いところをしっかりと見ておられてのプログラムで本当にいいスタートでした。評議会が楽しかったと言える一日でした。



あずさ部評議会集合写真
東京YMCA山手コミュニティセンターにて

2025-2026年度あずさ部スタッフ・会長(敬称略)

あずさ部部長	山口 直樹 (東京武蔵野多摩)
書記	本川 悦子 (東京西)
会計	宮内 友哉 (東京武蔵野多摩)
監事	標 克明 (甲府)

会長

甲府クラブ	ピーターマウントフォード
東京西クラブ	神谷 幸男
東京武蔵野多摩クラブ	渡辺 大輔
松本クラブ	中本 晶子
東京サンライズクラブ	小山 久恵
甲府21クラブ	水越 正高
東京八王子クラブ	長谷川あや子
東京たんぽぽYサービス	藤江 喜美子
富士五湖クラブ	尾崎 時恵
長野クラブ	湯田 勝彦
甲府やまなみクラブ	米山 俊彦

ひつじぐも便り

ひつじぐも 2年 鳥越 琴乃

盛夏の候

こんにちは。中央大学総合政策部2年、鳥越琴乃です。セミの声がにぎやかに響き、本格的な夏の訪れを感じる頃となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

では、ひつじぐもの6月の活動報告をさせていただければと思います。6月も、ひつじぐもでは地域の子どもたちと交流する機会に恵まれ、充実した活動を行うことができました。6月21日(土)には、日野市みさわ児童館の子どもたちと一緒に、落合交流センターにて【デイキャンプ】を実施しました。野外で自由に遊んだり、インディアンドッグ作り、ホタル探し、そして最後は花火と、自然の中で一日を思い切り楽しむことができました。別れ際には、初めは緊張していた子が「楽しかった!」と笑顔で話してくれたことがとても印象に残っています。ほかにも、みさわ児童館にて【リーダーとあそぼう】という活動を行いました。ドッジボールやカードゲームなどを通して、子どもたちとたくさんふれ合い、笑い合う時間となりました。帰り際に名残惜しそうに手を振ってくれる子どもたちの姿に、あたたかい気持ちになりました。

こうした活動を通じて、子どもたちの素直な言葉や笑顔に触れるたびに、私たち自身も多くのことを学ばせていただいております。子どもたちの純真な姿に励まされ、また、皆さまの温かいご支援とご指導のもと、安心して活動に取り組むことができていることに深く感謝申し上げます。まだまだ未熟な私たちではございますが、一つひとつの出会いを大切にしながら、これからも誠心誠意活動が続けてまいりたいと存じます。

季節の変わり目でございますので、どうかご健康にはくれぐれもご留意くださいますようお願い申し上げます。今後とも変わらぬ温かいご助力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



わくわくビレッジ便り

館長 西嶋健太

夏の陽ざしがいつそう眩しいこの頃、皆様にはお健やかにお過ごしのことと存じます。第一四半期を終え、高尾の森わくわくビレッジの宿泊者数は昨年同期を上回っております。加えて7月のプログラム収入は単月として過去最高の見込みです。数値そのものを誇るのではなく、当施設の取り組みが皆様に支持され、必要としていただいている表れと受け止め、心より感謝申し上げます。こうした傾向は日頃のお力添えの賜物であり、職員一同の励みとなっております。夏休みに入り、連日多くの子どもたちが来館し、森の緑と蝉しぐれの中で学びと体験を重ねています。

一方で、スイミングスクールにおいて小学生が溺れ、尊い命が失われた痛ましい事故が報じられました。ご家族のお気持ちを思うと胸が詰まる思いで、心よりお悔やみ申し上げます。私どもはこの現実を重く受け止め、来館される皆様の安全への配慮を一段も二段も引き上げます。設備点検と危険予知の再徹底、見守り体制と声かけの強化、救命講習・訓練の追加実施、熱中症を含む体調管理フローの見直し、プログラムごとの水辺・火気・暑熱リスクの再評価を、速やかに進めてまいります。

「楽しく、安全に」を最優先に——子どもたちが胸を張って思い出を語れる場であり続けることをお約束します。厳しい暑さが続きます折、皆様におかれましてもどうぞご自愛ください。今後とも変わらぬご理解とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



「はっけん広場」

子どもたちが工作をしたり、プログラムをする場所

東京 YMCA 便り

担当主事 西嶋健太

1. 6月26日、日本YMCA同盟が主催し、「世界のYMCAの今とVision2030」をテーマに研修会が山手コミュニティセンターにて開催された。世界YMCA Vision2030推進責任者のラズン・サス氏を講師に迎え、職員と会員約50名が参加した。また、6月25日には世界YMCA同盟総主事のカルロス・サンヴィー氏とラズン・サス氏が東京YMCAを訪問し、星野総主事およびスタッフと対談を行った。同日夕方には「歓迎夕食会」を開催し、日本YMCA同盟と東京YMCAの役員や職員20名が参加した。
2. 6月27日、ウクライナYMCAのビクター・セルブロフ総主事の来日記念報告会が山手コミュニティセンターにて開催され、他YMCA関係者も含め38名が参加した。ウクライナの現状や戦禍におけるウクライナYMCAの活動、東京YMCAからの募金で実現したキャンプの様子などについてお話いただいた。なお、会場にてウクライナYMCA支援の募金を呼びかけたところ36,400円が寄せられた。
3. 6月29日～7月3日、大阪YMCAがホストを担い、YMCA世界大都市会議(YWUN)が大阪にて開催された。世界31か国から総主事やCEOを中心に約70名が参加し、「Transformation」をテーマに、様々なプログラムが持たれた。東京YMCAからは星野太郎総主事と松本数実(国際・総合教育事業部統括)が参加。会議の中で星野総主事が東京YMCAの能登半島災害復興支援活動についてプレゼンテーションを行った。なお、同会議の前後に海外YMCAから10名が東京YMCAを訪問した。
4. 7月21日から25日、日本YMCA同盟国際青少年センターYMCA東山荘にて、「全国YMCA専門職管理者研修」が開催された。YMCAの保育園、幼稚園、学童保育、高齢者施設等において、専門的なリーダーシップを担う職員を対象として実施され、全国9つのYMCAから19名が参加し、東京YMCAからは3名が参加した。「人間関係能力の開発と自己理解」、「YMCAの使命とキリスト教基盤」(講師:阿部志郎氏(神奈川県立保健福祉大学名誉学長/横須賀基督教社会館会長))、「組織の管理と運営」などのテーマで研修が行われた。

東京 YMCA 便り 続き

今後の主な行事予定

- ・「早天祈祷会」8月1日(山手センター／オンライン)
奨励:松本竹弘氏(東京 YMCA 副総主事)
- ・「第16回キッズワールドカップ in 韓国」8月8～12日
(ソウル YMCA Darakwon Campsite)
- ・「2025 災害スタディ ～防災まち歩き」9月20日 東陽町センター
(共催:社会福祉法人 江東区社会福祉協議会)
- ・「第39回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン):9月20日～9月27日
チームウォーキング(オンライン):9月27日～10月5日
駅伝大会(都立木場公園):9月27日

メンバー競作



稲葉恵子作品(キュウリとミニトマト)



長谷川あや子作品(庭に咲く山百合)

今月の聖句によせて

2025年8月度

イエスは、弟子たちに自分自身の内に塩を持つよう指導します。塩は味を失ったら無用の物になってしまいます。外に捨てられてしまっても仕方がないものになってしまうといひます。この場合、塩は弟子たちの心のもちようです。敵を愛し、断食をし、祈り、人にしてもらいたいと思うことは、何でも人にする、一人一人を大切にすることのできる心を養うことによってのみ、イエスの弟子となることができるとその覚悟を促します。

塩は、腐敗と対峙し、腐敗を防ぐものです。利害に左右され、時にはだまし合うのが普通になっている汚れ切った社会にあって、イエスは弟子たちに、あなたがたは「地の塩」であると伝えます。このように言われたとき、弟子たちは、自らを省みて、あまりにも「地の塩」とはかけ離れた自分を見出さざるを得なかったでしょう。イエス自身は「地の塩」であり、弟子たちの弱さを知りながら、世に妥協することなく、腐敗と対峙し続ける強さを持つことを、弟子たちに求めたのでしょう。どんなに腐敗にそまり欲望に支配されそうになる人であっても、憐れみをもって包み込むイエスの愛の深さが示されていると思わずにはいられません。しかし、「地の塩」となってイエスに従って生きようとするものに加えられる迫害、憎悪は想像を超えるものになることもイエスは知っていたのです。

国をあげて戦争に狂奔する時代に、平和を唱える者には非国民の罵声が投げつけられ、社会からしばしば疎外されるという歴史が現実になりました。イエスの「地の塩」であれ、どの言葉は、平和をつくりだすことが、そうした疎外、孤独に耐えとおす、主体的な決意なしにはあり得ないのだ、ということも教えています。



7月クラブの例会報告 小口 多津子 (書記)

7月第一例会

2025年度キックオフ例会 報告書記小口

日時: 7月12日(土) 18:00～20:00

場所: 北野市民センター2F 担当班(B)

出席者: 卓話者・・ビジター 星野太郎氏(東京 YMCA 総主事、東京クラブ)

ゲスト・・大輪匡史さん、ひつじくも・・高橋佑太君(3年)、風間梓沙さん(3年)



メンバー・・長谷川、稲葉、並木(真)、小口、久保田、久保田佐和子、花輪、望月、山本、西嶋、大久保、並木(信)、並木雍子

司会(久保田)

長谷川あや子 新年度会長の主題と抱負・・「若い人の成長を願い、ともに歩む」

「3回目の会長を担って、八王子クラブがこれまで続けてきた中央大学学生 YMCA ひつじくもとの 24 年もの連携による活動、お互い の間で交流や支援に沢山の大きな成果が生まれたこと、八王子クラブのこの力を大切に守り、若者と共に歩む年度にしたい。」

卓話: 「Tokyo YMCA Vision 150」 星野太郎(東京 YMCA 総主事)

2030 年に東京 YMCA が 150 年を迎えるにあたって、東京 YMCA の使命を具現化するために策定された、このビジョンの5つの行動指針は、

- ① ユースが輝く場を作ります
- ② 地域とともに歩みます、
- ③ 多様性のある場を大切にします。
- ④ 子どもの未来のために環境を守ります
- ⑤ 活動の基盤となる組織を強くします。

この5つの指針を東京 YMCA に連なる人々で、ワイズも含め 2030 年に向けて進みます。

諸報告:

1. 7月26日(土)10:30～第1回あずさ部評議会(あずさの集い)。7月第2例会に充当。

2. 7月30～8月3日 AYC ひつじくも岩崎さんを含め東日本区参加者ユース5名。

3. 8月1日～3日第31回アジア太平洋地域大会 久保田メ、メネット、並木(真)参加

4. 8月9日(土)16:30～直前会長感謝会・合同例会(東京多摩スマイルクラブ、綿引会長)

東京八王子クラブは、新旧会長の引継ぎ式を行う。

場所: 八王子駅北口「北海道」会費 3,800 円(八王子メンは 2,800 円)、

予定参加者、八王子 13 名、多摩スマイル 8 名、ひつじくも 3 名(招待)。

7/31 までに並木さんへ、班で出欠を申し込みする 担当 C 班/並木(信)

5. 8月23日(土)8月第二例会。

スマイル: 12,400 円

ハッピーバースデー 花輪宗命さん(8日)、稲葉恵子さん(24日)、望月夫妻(5月の分)



例会後、久保田さんの手配の北野駅前「たのしや」で、星野総主事とメンバーの会食。9時終了。

先月の例会ポイント (7月)

在籍	11名	切手	計	0円
メン	11名	現金		0円
出席率	100%	累計		0円
		スマイル		12,400円
メネット	2名	累計		12,400円
ゲスト	1名	オークション		0円
ビジター	1名	累計		0円
ひつじくも	2名			

8月で誕生されたメンバー

並木 美奈子さん 23日